

弊社所属115系電車S9編成 「台湾鐵路管理局・自強号色」鉄道模型の発売開始について

このたび、しのの鉄道株式会社(本社:長野県上田市)と、株式会社トミーテック(本社:栃木県下都賀郡壬生町)は、弊社所属車両をモデルとした鉄道模型の商品化許諾契約を締結し、2021年1月29日より発売が開始されることとなりました。

今回の商品は、弊社が定期列車で運行する115系電車S9編成「台湾鐵路管理局・自強号色」を1/150の縮尺寸法(いわゆるNゲージ)で模型化したもので、日本国内の鉄道模型メーカーが海外で運行された鉄道車両のデザインを模型化するのは大変珍しいことです。なお、商品化許諾および販売については日本国内に限定されております。



◇商品概要

- 商品名 TOMIX しのの鉄道115系電車
(台湾鐵路管理局・「自強号」色)セット
- 販売日 2021年1月29日(金)
- 販売価格 本体価格15,000円(税込価格16,500円)
- 商品仕様 1/150スケール・3両入りセット(ケース付き)

<参考>しのの鉄道と台湾鐵路管理局の交流について

しのの鉄道では、2018年3月26日に台湾鐵路管理局と「友好協定」及び「田中駅」の「姉妹駅協定」を締結しました。この協定の締結を契機とした交流事業の一環として、相互に使用済みの乗車券と企画乗車券の無償交換を行う「乗車券交流」や、相互の車両デザイン交換を実施しています。

また、日本と台湾の相互交流を目的に、一般社団法人軽井沢観光協会と台湾苗栗県三義郷が2018年6月に締結した「文化教育観光連携覚書」に基づく交流事業の一環として、台湾苗栗県が2018年8月8日から運行を開始した「旧山線レールバイク」と、相互に使用済みの乗車券の無償交換を行う「乗車券交流」を実施しております。

○塗色イメージのモデルとなった車両について

台湾鐵路管理局 EMU100型電車

台湾鐵路管理局の中長距離用交流電車。1978年に製造され、同年6月1日より運用が開始されました。主に西部幹線(基隆駅~台北駅~高雄駅)で、「自強号」(日本での特急に相当)として運行されていましたが、後継の新型車導入などに伴い、2009年6月16日のダイヤ改正を以って定期営業運転を終えました。しのの鉄道が所有する115系電車と同時期に製造された車両であることや、姉妹駅協定を締結した「田中駅」を通る列車として運用されていたことから、「EMU100型電車」をイメージした塗色を「115系電車」で再現することとしました。

○運用期間および運用区間

2018年11月15日から、しのの鉄道線 軽井沢駅~北しのの線 妙高高原駅間を運行する普通列車や快速列車等として運用中です。

しのの鉄道 株式会社

〒386-0018

長野県上田市常田1-3-39

<https://www.shinanorailway.co.jp/>

◇台湾鐵路管理局との交流事業に関するお問い合わせ先
営業課

TEL:0268-21-4702 (平日8:30~17:30)

◇本プレスリリースおよび商品化許諾に関するお問い合わせ先
経営企画課

TEL:0268-21-4701 (平日8:30~17:30)